

漁海況 情報

令和6年(2024年)7月8日 第5号(通巻771号)

山口県水産研究センター 外海研究部

〒759-4106 山口県長門市仙崎2861-3
TEL 0837-26-0711 FAX 0837-26-1042
E-mail a16402@pref.yamaguchi.lg.jp



海鳴りネットワークURL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

令和6年(2024年)春季のいわし類の産卵状況

◆令和6年(2024年)4~6月に山口県日本海沖で卵・稚仔のネット採集調査を行い、いわし類の産卵状況を明らかにしましたので、結果をお知らせします。

◆マイワシ

◇本年3月の採集調査は欠測しました。4~6月には前年・平年同様ごく少数の卵が出現しただけでした。

※「平年」は最近5年(H31~R5年)平均

◆カタクチイワシ

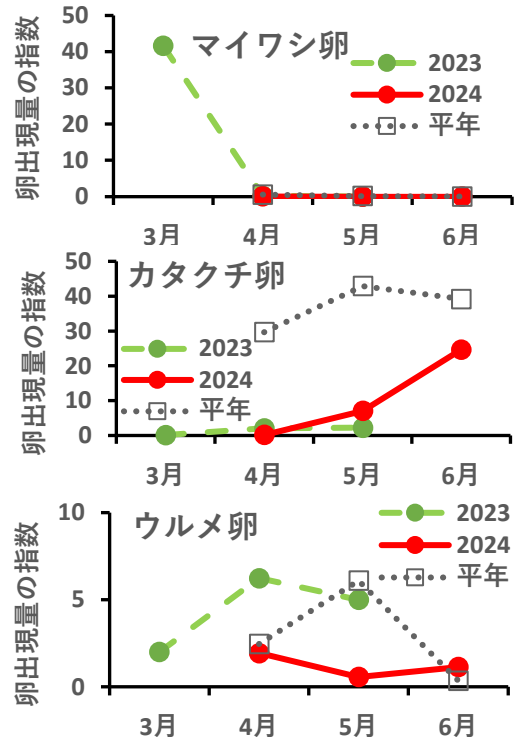
◇4~6月の中では6月に卵の出現量が最も増加したものの、4~6月を通した産卵量を平年と比較すると、平年をかなり下回りました。

※「平年」は最近5年(H31~R5年)平均

◆ウルメイワシ

◇4~6月の卵の出現量は、前年・平年をかなり下回りました。特に5月の出現量が顕著に減少しました。

※「平年」は最近5年(H31~R5年)平均



今後のいわし類来遊量の見通し

◆山口県に来遊するいわし類の産卵場は山口県沖だけでなく、対馬海峡まで広がっていますので、漁況を予測するためには対馬海峡の産卵情報も必要です。しかし、情報がないので、ここでは山口県沖の卵出現量だけを根拠に大まかな来遊量の見通しを示します。

◆マイワシ

◇本年は4月にシラスから獲れ始め、その後も徐々に魚体が大きくなりながら好漁が続き、7月上旬現在、体長約9cmのヒラゴが漁獲されています。4~6月に漁獲されたこれらの耳石からふ化日を調べた結果、ほぼ3月にふ化した個体が漁獲されたことが判明しました。本年は3月の産卵調査は欠測したものの、大羽いわしの漁獲状況から判断すると、昨年同様3月の産卵量は多かったのではないかと推測されます。ヒラゴは水温が上昇すると北上することから、8月以降来遊量は減少していくものと予想されます。

◆カタクチイワシ

◇4~6月の卵の出現量が平年を大きく下回ったことから、4~6月生まれのカエリ・小羽が主に漁獲される9月頃まで来遊量は平年を下回ると予想されます。

◆ウルメイワシ

◇盛漁期となる9~10月に漁獲されるウルメイワシは主に5~6月生まれであり、本年は5~6月の卵の出現量が前年・平年をかなり下回ったことから、来遊量は前年・平年を下回ることが予想されます。